

# ケニア JICA プロジェクト研修員の受け入れ

## 1. はじめに

林木育種センターでは、(独)国際協力機構(JICA)を通じて、平成24年(2002年)からケニア森林研究所(KEFRI)への技術協力のための「気候変動への適応のための乾燥地耐性育種プロジェクト」を進めています。毎年、各分野の専門家を派遣して現地での技術指導を行うとともに、日本への研修員の受け入れを行い、乾燥に強く生産性の高いケニアの郷土樹種であるメリア(センダン科)などの優良品種の開発・普及に取り組んでいます。現地にはメリアの採種園や検定林を造成し、その管理方法などについての指導を行っています。

今年度は5月25日から普及コース4名、7月7日からプロジェクト管理コース2名の研修員を受け入れました。

## 2. 今年度の研修概要

### (1) プロジェクト管理コース

(7月7日～13日)

KEFRIとともにケニアにおける森林保全・管理を担当し、プロジェクトの実施機関となっているのがケニア森林公社(KFS)です。今年度はそのトップであるKFS総裁、さらにKEFRI副所長というプロジェクトにとって極めて重要な研修員を受け入れ、我が国の育種事



写真1 茨城県採種園視察

業の概要の講義、民間苗畑や足尾荒廃地緑化事業地視察などの研修を行い、プロジェクトの運営・管理やケニアにおける森林保全の推進に貢献するものです。

### (2) 普及コース(5月25日～6月19日)

プロジェクトも後半を迎えていることから、開発した技術や優良種苗の普及手法開発を進める必要があります。このため、ケニアにおいて種苗配布に携わるKEFRI3名及びKFS1名の研修員を受け入れ、我が国の育種事業の概要の講義、民間苗畑や木材加工工場の視察、NGOなども取り込んだ宮城県における海岸防災林再生事業、さらには日本におけるセンダンの造林地視察など、普及に必要な幅広い研修を行うことにより、ケニアにおける普及活動推進に貢献するものです。



写真2 民間苗畑視察

## 3. 今後の取組

プロジェクトもあと2年余りとなり、メリアの優良候補木選定や採種園造成等に成果が現れつつあることから、その普及などこれまで日本で研修を受けた人材の活躍が期待される所です。来年度も現地の状況を踏まえ、適切な研修となるよう取り組んでいきます。

(海外協力部 海外協力課 上澤上 静雄)

表紙タイトル写真は、ケニアにおける *Melia* (植栽から2年2ヶ月)

※紙ヘリサイクル可



林木育種情報 No.19

平成27年7月31日発行

国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター  
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1

TEL: 0294-39-7000 (代)

FAX: 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>